

広島・宮島 地域活性化に向けた交通アメニティ環境の創生

人と環境に優しい交通輸送機関の導入

東京藝術大学美術学部建築科 講師 博士(工学) 河村 茂

1. 厳島神社の世界文化遺産登録

1996年、日本三景の一つ安芸・宮島の厳島神社が、世界文化遺産に登録された。地元ではこれを契機に近隣自治体や関係企業等とも連携し、観光客の増加など地域活性化に向けた取組みを強化している。厳島神社は、古来より日本人の精神文化を象徴するものとされてきている。そこで、まずは、この神社の文化的価値について概略紹介することとしたい。

□日本美の輝く金字塔 海を敷地とした驚天動地な発想

12世紀、平清盛と神主・佐伯景弘によって調えられた厳島神社。この壮大な社殿群は、平安時代の浄土信仰に基づく極楽浄土を現したもので、島全体がご神体として祀られており、古来より神聖な場所とされてきた。また、神社の背後には神が降臨する場として弥山が存し、その麓には遥拝所として弓状に広がる遠浅の浜・御笠浜があり、海から浜（現世）そして山から空（あの世）へと魂が彷徨う、その境界領域を利用して厳島神社の社殿群が配置されている。

厳島神社、干潮時には大鳥居まで歩いていけるが、潮が満ちてくると社殿や廻廊は海に浮かんでいるかのように姿を変える。海と浜の関係は潮の動きに、また浜と山の関係は霧（もや）のかかり具合によって変化し曖昧である。潮の干満や霧のかかりを利用し、自然を神とみる日本古来からの自然信仰を姿・形にし、見事に自然美と人工美とを調和させた厳島神社。この社殿建築は、その後の日本人の美意識に一つの基準を成し、日本人の精神文化を理解する上で重要な位置を占めている。端的にいうならば、日本人の自然観、生き方、即ち、人生観の神髄を一目で示したという意味で、日本に現存する社殿群の中で唯一無二のものとなっている。



広島と宮島の位置

厳島神社側から見る宮島口 潮の干満により変化がみられる鳥居

厳島神社の施設群は、津波や高潮の危険にさらされている。この神社は、そうした厳しい自然条件下にあるだけでなく、現にこれまでも幾度も台風や火事などの災害に見舞われた。しかし、その度にこれを克服し何度も社殿を再建し今日に至っている。正に日本の姿を映し出している。

「地方創生」支援プロジェクト



海を敷地に見立て、潮の干満や朝夕の靄また四季など自然の変化までも織り込んで調えた、その驚天動地な発想には驚かされる。海上に浮かぶ巖島神社の社殿そして朱塗りの大鳥居は、ここでしか見られない特異な幻想的風景を現出しており、仮（現世）と空（あの世）を包む「中」を表現したものと考えられ、日本の建築文化の美的水準の高さを示している。

巖島神社は、日本の風土に根ざした宗教・神道の施設であり、平安時代の寝殿造の様式を取り入れ、仏教との混交と分離の歴史を示す文化資産として、日本の宗教的空間の特質を理解する上で重要な拠り所となっている。日本人の精神世界は、現世とあの世とを行ったり来たりし、人と神々とは共生する優美な世界を織り成している。



巖島神社の施設配置



上空からの望む巖島神社

2. 観光インフラの充実 超低床LRV(Light Rail Vehicle)の導入

宮島観光は、一般に新幹線で広島に入り、JRの在来線ないし広島電鉄に乗り換え宮島口まで鉄道で移動、そこからJRの連絡船に乗り宮島に渡るのが通常のコースである。この連絡船が発着する地元の廿日市市(はつかいちし)は、時を同じくして世界遺産となった「原爆ドーム」が存する、地域の中核都市・広島市などとも連携し、巖島神社の世界文化遺産登録を機に広島を活性化しようと、社会ニーズをふまえ観光の舞台を整えるべく知恵を絞っている。

その一環として2005年には、広島都市圏LRT(Light Rail Transit)プロジェクト推進協議会(広島電鉄、国道事務所、県、県警本部、広島市、廿日市市)が組織され、宮島へのアクセス向上やこれと結ぶ、市内交通の安全で快適な交通輸送環境の整備に向け、①新型車両の導入、②交通結節点の整備、③電停の改修などの事業を順次、進めることで、高齢者等の交通機関相互の乗換や車両の乗り降りの軽快化、LRT(軽量な都市軌道交通輸送機関)運行の定時性や運行頻度の確保など、地域内移動の円滑化が推進されてきている。なお、鉄道線と市内軌道との乗り入れについては、昭和37(1962)年に、JRと並んで走る広島電鉄(以下、「広電」という。)の、鉄道・宮島線の低床車両化を図ることで、市内軌道の路面電車と西広島駅でつなぎ、既にシームレス化を実現している。

○車両の超低床化・アメニティ化 楽しく快適に

社会の高齢化や安全志向、環境重視の世論の高まりをうけ、車両のバリアフリー化や排気ガス

「地方創生」支援プロジェクト



の出ない、省エネルギー、低騒音・低振動の、人や環境に優しい交通輸送環境の実現をめざし、加齢等で身体機能の低下した人たちにも、支障なく乗り降りができ快適に観光ができるよう、まずは宮島線に超低床LRVの導入が図られた。

このLRV導入は、平成11(1999)年に試みとして、広電がドイツから車両(5000形グリーンムーバー、12編成)を購入し、広島と宮島の間で営業運転を行った。しかし、その結果、車両の維持管理に相当の手間と時間がかかることが判明したため、広電は国内メーカーの手を借り車軸のない専用台車の開発を進め、これをベースに国内車両メーカー3社と共同で、国産LRVの開発プロジェクトを立ち上げ、2005年に国産初となる完全超低床車両を実現した。これが5101形のグリーンムーバーmaxである。

この車両は床高が330mmと低く、通路も車椅子対応として広くとってある。また、車内には座り心地のよいシートを装備、色彩もグリーン系にし、照明も柔らかな色合いのダウンライトを採用することで、落ち着いた雰囲気的車内環境に仕立てている。さらに、手すりを黄色にしたり、つり革の持ち手を持ちやすく三角にするなど、安全面にも十分配慮している。



グリーンムーバーmax



その車内



西広島駅構内(鉄道と軌道を連結)

このような努力が実を結び、宮島への来島者は、超低床のLRVを導入した1996年の248万人から徐々に増え、国産LRVの運転が始まった2005年に266万人、そして2007年には300万人を超え、2012年と2013年には400万人を記録した。しかし、2014年は減少してしまった。そこで廿日市市は、次の一手として世界遺産に相応しい玄関口の整備に向け、2015年に「まちづくり国際コンペ」を実施、世界から広くアイデアを募ることになった。



「地方創生」支援プロジェクト



3. 高齢社会、余暇社会の都市装置 超低床LRV、LRT

広電は、鉄道としての宮島線 16.1km のほか、軌道として 19km の営業キロを有しており、1～9号線まで多くの路線を運行している。一日の利用客数は、市内軌道が 10 万 6 千人で、鉄道宮島線は 4 万 8 千人である。広電の超低床車両は、LRT として広島市内に乗り入れており、宮島観光だけでなく「原爆ドーム」など広島市内観光などにも利用されている。

また、LRT は日常的にも市民の足として、都市活動や市民生活も支えている。広島市は人口約 120 万人の大都市であるが、都心 5 キロ圏域に全人口の半数約 60 万人が暮らすコンパクトなまちである。路面電車は、全国 18 都市で 19 の事業者により運行されているが、一日乗降客数が 10 万人を超えるのは広島のみで、いかにこの街の人口構造が路面電車に適しているかがわかる。

この広電がユニークなのは、全国いや海外(ドイツのドルトムントやハノーバー)からも順次、車両を移籍させ、現在 **25 種類の路面電車が走行**、「日本一の路面電車のまち」になっていることである。こうして広島のみは、さながら**路面電車の生きた博物館**となっている。



世界遺産・原爆ドーム



路面電車の博物館



駅広内に移設された横川電停

○乗換・乗降りの軽快化

この超低床の LRV、地域活性化に向けた都市の装置として捉えられており、広島都市圏 LRT プロジェクト推進協議会では、都市内公共交通機関の中核に位置づけ、市民のフットワークをよくしようと、車両のアメニティ化、乗り降りの軽快化、乗り継ぎの円滑化のための施策を打っている。

そうした事業の一つとして JR と広電の乗換駅である横川電停では、駅前広場の整備にあわせ、広電の電停を駅前広場内に 200m 移設、JR 線との乗換がスムーズに行えるようにした。また、これにあわせ都心部(広電本社前)とを結ぶ路線を新設すると、同電停の利用客は 1 日平均 2000 人も増加した。

なお、超低床のグリーンムーバー、同 max とともに、その車両の優良品性が認められ、**グッドデザイン賞**や**鉄道友の会ローレル賞**、そして**ユニバーサル・デザイン賞**などを受賞している。

「地方創生」支援プロジェクト



参考資料等

広島市（2007）：地域活性化ハンドブック「路面電車からLRT交通システムへ」（財）地域活性化センター
横田好明（2009）：路面電車からLRTシステムに向けた広島電鉄の取り組み, IATSS Review Vol.34 No.2, pp47-55
廿日市市ホームページ:人と神々と共に生きる島Miyajima 宮島観光公式サイト、厳島神社
(一社)宮島観光協会ホームページ
広島電鉄ホームページ

掲載写真等

広島と宮島の位置 <http://mpi.main.jp/hiromiyaiwa.html>
厳島神社側から見る宮島口 <http://ja.wikipedia.org/wiki/>
潮の干満により変化がみられる鳥居 http://www.miyajima.or.jp/sightseeing/ss_itsukushima.html
厳島神社の施設配置 <http://www.miyajima-wch.jp/jp/itsukushima/03.html>
上空からの望む厳島神社 <http://www.kankou.pref.hiroshima.jp/>
廿日市市総観光客数及び宮島来島者数の推移 <http://miyajimaguchi.jp/>
グリーンムーバーmax、その車内、西広島駅構内 <http://irc.iyobank.co.jp/topics/n-report/0704.htm>
世界遺産・原爆ドーム <http://upload.wikimedia.org/wikipedia/>
路面電車の博物館、駅広内に移設された横川電停 <http://www.hiroden.co.jp/>

「地方創生」支援プロジェクト

